



# よこどっ子

千葉市立横戸小学校  
〒262-0001  
千葉市花見川区横戸町 1005  
TEL043-259-5588  
学校だより第10号  
令和8年2月27日(金)



## ウェルビーイングの魔法「アリアリナンヤツ」 校長



2月に入って間もなく雪が積もる日がありましたが、その2週間後には夏日を記録したというニュースがありました。気温が上がり、暖かさを感じる時期となると年度末が近づいていることを実感します。

今年度、私は子どもたちに長く続く幸せ、ウェルビーイングを目指し「よこどウェル魔法学校をつくろう!」と伝えてきました。魔法と言えはほうきで空を飛ぶ姿を思い浮かべます。私はほうきで空を飛ぶことはできませんが、気球で空を飛ぶ夢をかなえました。遠い昔の大学時代のことですが、空気を温めて熱気球が飛ぶには理科の知識、風を読んで方向を決めるには数学のベクトルの知識、ミシンで気球の球皮を縫うときには家庭科の技術が必要でした。つまり学校で学んだことを駆使して夢を叶えたわけです。私が子どもの頃、未来の夢として描かれていたテレビ電話は、今では当たり前ですが、これも多くの人の学校での学びの積み重ねがあって実現されたものです。ハリーポッターは学校で学び、魔法を使いこなせるようになりますが、学校での学びは、魔法のように思えることを実現するために必要であり、ある意味、学校は皆「魔法学校」なのです。

幸せあふれる横戸小づくりを目指し学ぶ中で、私が興味を持ったのが、前野隆司氏の「幸福学」です。工学部出身の前野氏はカメラやロボットを作る企業のエンジニアでしたが、ものが豊かになっても、人々の幸福度が戦争直後と変わっていないことにショックを受け、「ロボットの幸福より、人間の幸福のメカニズムを明らかにしたい」と大学で研究を始めました。そして明らかになってきたのが「幸せの4つの因子」です。

前野氏監修の本「99%の小学生は気づいていない!? ウェルビーイングの魔法」には、幸せになるための4つの因子が、子ども向けに、魔法の呪文「アリアリナンヤツ」として紹介されています。「ありがとう（つながりと感謝）」「ありのままに（独立とマイペース）」「なんとかなる（前向きと楽観）」「やってみよう（自己実現と成長）」の4つをつなげたもので、私もその大切さを子どもたちに伝えてきました。

25日に行われた六年生を送る会では「ありがとう」の気持ちが会場中にあふれ、多くの方が幸せに包まれました。各学年「ありのままに」その学年らしさを生かして発表しました。本番までには、緊張したり、うまくいか不安になったりすることもありましたが、「大丈夫、練習してきたのだからなんとかなる、やってみよう」と前を向いて取り組み、当日はあたたかい雰囲気の中で、気持ちを伝え合っていました。そんな「アリアリナンヤツ」の力を伸ばしてきた子どもたちの成長を、うれしく思いました。



よこどの森の雪景色

前野氏の本の表紙には「10年後のキミが変わる、幸せは自分でつくれる!」とあります。幸せは与えてもらうのではなく、自分でつくるもので、その力を身につけた時、真のウェルビーイングに近づくのだと信じ、私も学び続けたいと思います。